

古本・ガラクタ 商品売上監査マニュアル

2010年(ゆかり王国暦35年)10月7日 58期縁日班 横山

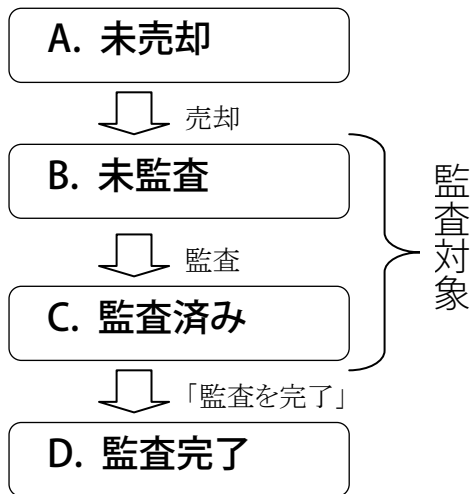
1. 商品の「4つの状態」

「ゆかり姫萌え萌えソフトウェア」には、監査委員のもと行われる文化祭各日の売上げ監査を支援するため、「回収されたタグの記載内容」と「データベースに入力された情報」が一致して

いるかを確かめるための機能がついています。

商品回収時に登録された商品は、初めは全て「A. 未売却」の状態になっています。そして文化祭当日、売却ウィンドウの画面から「売価」を登録された商品は、「B. 未監査」の状態に移行します。

「ゆかり姫」における【監査処理】とは、B の状態としてリストアップされた「売却済み商品」を、タグと照らし合わせながら「C. 監査済み」へと移行させてゆくことを指します。



2. 「監査」ウィンドウ

メニューから「機能」→「監査ウィンドウ」を選択し、打ち込み時と同様のオペレーター(入力者)選択画面で自分の名前を選ぶと、監査用のウィンドウが出てきます。

ウィンドウ右手には、「残り未監査」として、現在 B の状態にある商品の品数が出てきます。これが 0 品になるのがひとまずのゴールということです。また、「監査対象」として、B あるいは C の状態にある商品の数、および売却額の合計が表示されています。現金の実勢と、売却額の合計が一致するのが理想です。

監査 (テストデータ用)

品番orバーコード 入力してEnter

商品名

定価 ￥ 値引

売価 ￥

売却入力者

売却日時

残り未監査 品

監査対象 品

合計 円

<10秒ごと自動更新>

監査する品番を入力してください

入力者

3. 作業の流れ

商品を「C. 監査済み」の状態にするには、品番を入力して **Enter** を押すだけです(売却打ち込み時と同様にバーコードが使えます)。

品番を入力すると、記録されている「売価」が表示されますので、この情報がタグの記載と合致していることを確認してください。入力ミスが発見されたら、「訂正」ボタンから新しい金額を入れなおすことができます(このとき、売却入力者や日時が更新されます)。

品番を入力後はすぐに次の品番を入力できるようになりますので、「バーコードを読み取り」→「金額を確認」→「問題なければ次のバーコードへ」という一連の操作が、バーコードリーダーのみで行えるようになっています。

なお、「定価＝売価」の場合(打ち込み時にハイフンのみで入力できるケース)は、「売価」の先頭に「--」(ハイフン二つ)が表示されます。

「未売却にする」は、そもそも売れていないのに間違って売却されてしまった商品を、A の状態に戻します。当然、「監査対象」からは外れることになります。

4. 一通り終了したら

手元にあるタグ全てを読み取ったはずなのに「残り未監査」が0品になっていない場合は、タグの紛失などが考えられます。「売却ウィンドウ」で問題の商品番号を打ち込むことで、入力者や日時を確認することが出来ますので、その情報も参考にして探してみてください。

右下の「監査をやりなおす」ボタンは、「監査対象」の品を全て B 状態に戻すボタンです。仕切りなおしてもう一度全てのタグを洗いなおす際に使用してください。

また、「本日の監査を完了」は、BやC状態(「監査対象」)になっている全ての商品を、「D. 監査完了」の状態に移行させるコマンドです。これを行うと、「監査対象」の品数や合計金額は0にリセットされることになります。一日の監査が終了した後、次の日の売却入力を始めるまでに実行してください。